



有限会社 進工舎

- ・発病前の知識
- ・短時間勤務
- ・経営側の役割
- ・失敗したケース
- ・指示系統1本化
- ・労働規則改訂

精神・発達障害者数**5**名
全障害者数**6**名

全社での取り組みこそが、誤解のない雇用に

DATA データ

採用までのプロセス



利用した支援機関・制度

- 障害者職業センター
- 就労移行支援事業所
- ハローワーク
- 精神保健福祉センター
- 障害者トライアル雇用制度

- 障害者の担当業務
- NC旋盤のプログラミング・セッティング
 - バリ取り、製品洗浄
 - フライス盤・ボール盤操作
 - 出荷検査等

たとえ短時間労働でも、十分な戦力になる！

電力関連部品などの金属加工を行う有限会社進工舎。同社の代表取締役・田中誠さんは長男に知的障害があることもあり、平成9年から障害者雇用に取り組んできました。精神障害者は平成10年から雇用を開始し、現在、5名の精神・発達障害者が在籍しています。

「障害者の雇用を続けるのは、彼らならではの“力”があることを分かっているからです。障害種別ではなくそれぞれの“持ち味”を知れば、それを生かすことができます。とくに精神障害の方は、発病前の知識を活用できることも多いと思います。しかし、健常者は自分の70～80%の力で仕事を流すことができますが、彼らは常に120%の力を出してしまっ、8時間の労働に耐えられない人もいます。それでも、短時間に能力をしっかりと発揮してくれば弊社にとって十分な戦力になります。能力を生かすのが、我々経営側の役割だと思っています」と田中さん。

VOICE 現場の声



精神障害
小林義一さん

責任のある仕事に、やりがい

ここで仕事を始めて9年になりました。以前は建築現場で働いていましたが、工場の仕事は製品づくりができて面白いですね。いまはフライス盤やボール盤の作業を受け持っていますが、責任のある仕事を任せられて楽しいですね。でも、自分しかできないという思い上がった気持ちは持たないようにしています。



代表取締役
田中誠さん

意欲がある人全てを応援したい！

担当者任せにせず、全社的に障害者雇用に取り組むことで誤解もなくなると思います。働く意欲のあるすべての人を応援したい、というのが弊社の理念です。これからもそんな人材を応援し続けたいと思っています。

過去の失敗が、障害者雇用を見直すきっかけに

任せ過ぎないことで、全体のリスクも低減

障害者雇用が定着している会社ですが、過去には失敗したケースもあったと言います。それが障害者雇用に対する考え方を見直すきっかけにもなったそう。

「発達障害者を採用して1年が経過したころ、現場の意見もあり、就労環境などのレベルアップを試みましたが、それが本人の意思と合致せず、結局退職につながってしまいました。その反省を踏まえ、今は我慢せずに何でも相談しやすい雰囲気づくりや、指示系統の1本化などに努めています」

今年からは、就業時間の少ない障害者の社員向けの有給休暇などを定めた労働規則に改訂し、あいまいな部分をなくすことで、より平等に働ける環境づくりにも力を入れています。また、慣れてきても1つの仕事を1人に任せ過ぎず、他の人でも対応できるようにするなど、社内全体でリスクを低減する仕組みづくりにも留意し、障害者の継続雇用を実現しています。

有限会社 進工舎

名古屋市千種区今池2-16-1

TEL: 052-731-0817 FAX: 052-741-4669